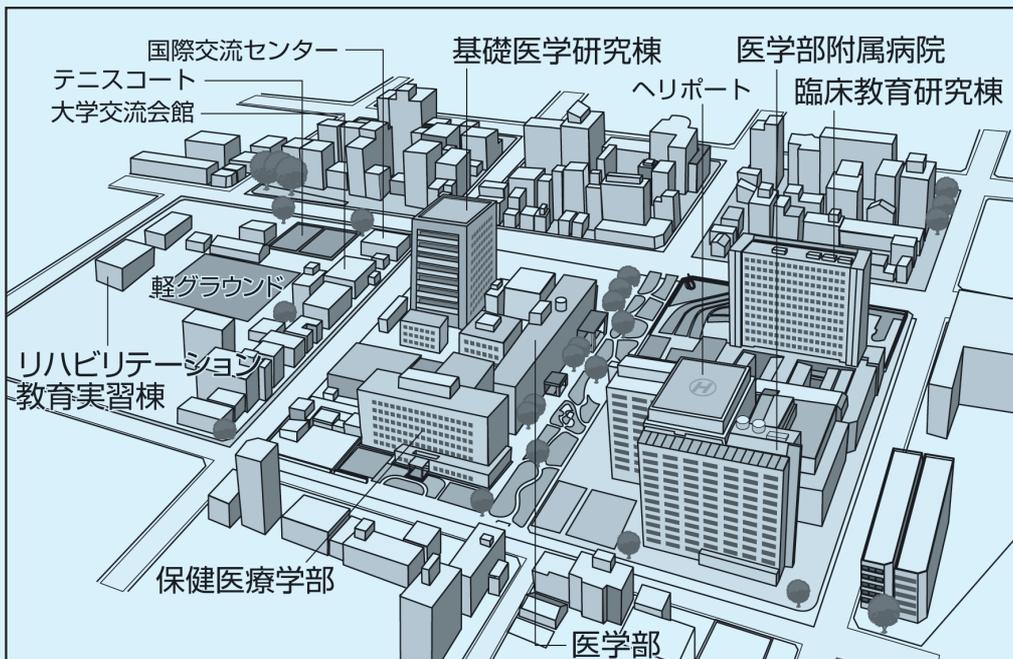


平成16年度 学生募集要項

札幌医科大学大学院

保健医療学研究科（博士課程後期）

【理学療法学・作業療法学専攻】



平成 15 年 11 月

札幌医科大学

平成16年度 札幌医科大学大学院保健医療学研究科 (博士課程後期) 学生募集要項

平成16年4月本学大学院保健医療学研究科(博士課程後期)に入学させる学生を次のとおり募集します。
選抜方法は、「一般選抜」と「社会人特別選抜」を実施します。

1 専攻と募集人員

理学療法学・作業療法学専攻 6名(社会人特別選抜による若干名を含む。)

[※の教育研究分野については、今回は募集しません。]

専 門 領 域	教 育 研 究 分 野
理学療法学領域	徒手療法学 身体機能代償学 神経障害理学療法学
作業療法学領域	※作業科学 活動能力障害学 ※感覚統合障害学 神経精神機能障害学 精神障害作業療法学

2 出願資格

出願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

「一般選抜」

- (1) 修士の学位を有する者又は平成16年3月までに修士の学位を取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者又は平成16年3月までに修士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (3) 文部大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
- (4) その他本学大学院研究科において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (5) 外国人留学生については、別に定めます。

注 出願資格の(1)以外に該当する出願希望者は、事前に本学にお問い合わせください。

「社会人特別選抜」

社会人特別選抜を志願することのできる者は、上記の出願資格のいずれかに該当するもので、入学時において3年以上の実務経験を有するものとします。

今回募集する教育研究分野の問い合わせ先

専門領域名	教 育 研 究 分 野	担当教員名 (内線番号)
理学療法学	徒手療法学	宮本重範 (2871) miyamoto@sapmed.ac.jp
	身体機能代償学	乾 公美 (2875) inui@sapmed.ac.jp
	神経障害理学療法学	吉尾雅春 (2879) yoshio@sapmed.ac.jp
作業療法学	活動能力障害学	澤田雄二 (2881) yusawada@sapmed.ac.jp

作業療法学	神経精神機能障害学	村上新治 (2880) shinjim@sapmed.ac.jp
	精神障害作業療法学	青山宏 (2889) haoyama@sapmed.ac.jp

代表電話番号 (011) 611-2111
FAX (011) 611-2219

3 出願手続

(1) 提出書類及び検定料

① 入学願書	本学所定の用紙を使用してください。
② 修了(見込)証明書	出身大学(研究科)長が作成したもの(注1、注2参照) ただし、本学修了(見込み)の者は提出を要しません。
③ 調査書 (成績証明書)	出身大学(研究科)長が作成の上、厳封したもの(注1、注2参照) ただし、本学修了(見込み)の者は提出を要しません。
④ 研究志望書	A4判縦型用紙(横書)に記載したもの(注3参照)
⑤ 業績調書	主要論文(修士論文等)の写し及びその要旨並びに論文目録及び社会活動等を記入したもの
⑥ 健康診断書	本学所定の用紙により、医師が出願前3ヶ月以内に作成したもの
⑦ 受験票・写真票	本学所定の用紙により、写真(出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、正面、脱帽で縦4cm×横3cm)を貼付してください。
⑧ 入学検定料	30,000円 本学所定の納付書に所要事項を記入の上、北海道収入証紙または普通郵便為替(「受取人欄」は記入しない。)により納付してください。 (本学博士課程前期に在学中で引き続き博士課程後期に進学する方は、不要です。)
⑨ 外国人登録済証明書	日本国籍を有しない者は、市町村長の発行する外国人登録済証明書(在留資格が明示されているもの)を提出してください。
⑩ 返信用封筒	受験票の送付に使用するので、定形封筒(長型3号)に志願者の氏名及び送付先住所を記入し、430円切手を貼付したもの。速達を希望する場合は、さらに270円切手を貼付してください。

注1 出願資格(1)により②・③の書類が提出できない場合は、学位授与機構の学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書並びに学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った施設の長が作成した単位修得証明書で、厳封したもの

注2 外国の大学(研究科)を卒業(修了)した場合は、修了証明書及び成績証明書

注3 研究志望書には、氏名、希望専攻・教育研究分野を明記し、次の事項を適宜記載してください。(2,000字程度、自由記載、ワープロ書きが望ましい)。

○入学後における研究目的並びに希望する研究テーマとその内容について

○上記に関連する今までの臨床・研究業績又は修士論文の概要について

* 社会人特別選抜による出願者は、①～⑩の書類に併せて次の書類を提出してください。

⑪ 在職期間証明書	実務経験を3年以上有することを所属の代表者が証明したもの (本学所定の用紙を使用してください。)
⑫ 就学承認書	入学後も社会人として官公庁その他民間会社等に在職のまま 就学する場合には、本学所定の用紙により提出してください。

(2) 願書受付期間

平成15年12月1日(月)～12月19日(金)までに必着のこと。

注1 出願書類を持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

ただし、土曜日、日曜日及び祝祭日は受け付けません。

注2 出願書類を郵送する場合は、書留速達郵便とし、封筒表面に「保健医療学研究科(博士課程後期)願書在中」と朱書きしてください。また、出願書類を受理した旨の通知を希望する者は、郵便番号・住所・あて名を記載した官製ハガキを添付してください。

(3) 願書受付場所

札幌医科大学事務局学務課主査(大学院)

〒060-8556 北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 (内線2177)

4 入学者選抜方法

学力検査、面接、調査書、業績調書及び健康診断などの結果を総合して選抜します。

また、社会人に対しては特別枠(定員6名に対して若干名)を設けます。

① 筆記試験： 外国語 英語(辞書の持ち込み可。ただし、電子辞書は不可)

② 口頭試問： 主要論文(修士論文等)、業績調書、志望領域及び研究能力などについて個別に行います。

※ 本学研究科修士課程及び他大学研究科修士課程において当該年度に修士号の学位を取得する見込みの者については、修士課程における学業成績及び修士論文を加味して選抜します。

ただし、合格発表後、修士の学位が取得できないことが判明した場合は、合格を取り消すことがあります。

5 試験日程及び試験場所

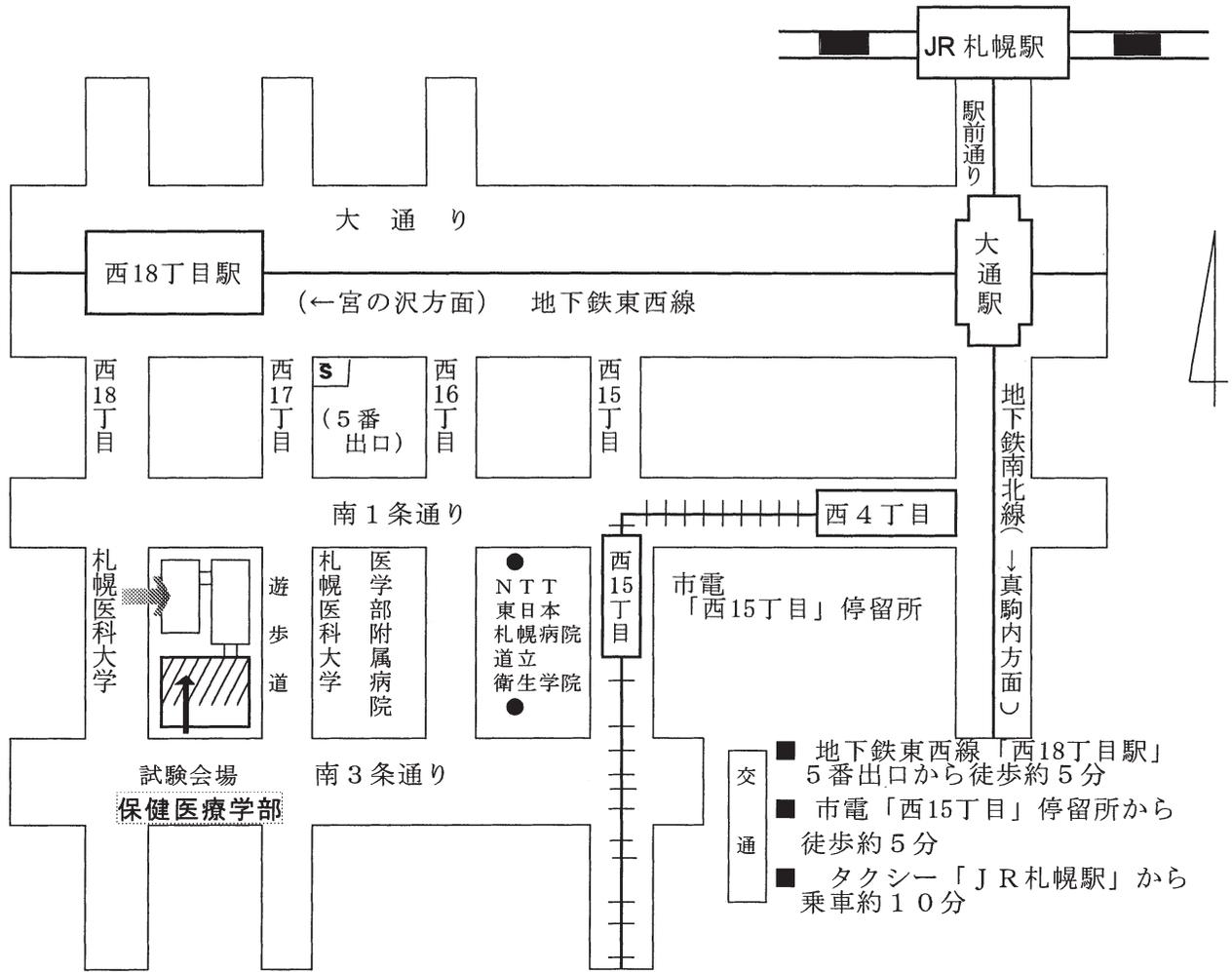
年月日	試験時間	試験科目等	試験会場
平成16年1月31日(土)	9:30～11:30	筆記試験	札幌医科大学保健医療学部
	13:00～	口頭試問	札幌市中央区南3条西17丁目

注1 受験者は、試験当日午前9時10分までに受付を済ませてください。

なお、試験室の開場は、午前9時00分です。

注2 健康診断の審査の結果、必要と認められる者には精密検査を行います。

注3 試験会場略図



6 教育方法

入学後も社会人として在職のまま就学する者への便宜

社会人特別選抜で入学した上記の者に対し、社会人としての職務の遂行と本専攻での履修が両立するよう大学院設置基準第14条特例により、就学上の便宜を図ることもあります。履修計画については、指導教員のもとに作成します。

7 合格発表

平成16年2月13日(金)午前10時00分

札幌医科大学保健医療学部正面玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に郵送文書で通知します。

なお、合格発表に関する問い合わせには、一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

平成16年2月16日(月)～平成16年2月27日(金)までに行ってください。

注1 入学書類を持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までに行ってください。
ただし、土曜日、日曜日及び祝祭日は受け付けません。

注2 入学書類を郵送する場合は、書留速達郵便とし、封筒表面に「保健医療学研究科(博士課程後期)入学書類在中」と朱書きし、期日までに必ず到着するように送付してください。

(2) 入学手続に必要な書類等

① 入学料	282,000円
(本学博士課程前期に在学中で引き続き博士課程後期に進学する方は、不要です。)	
② 戸籍抄本	1通
③ 誓約書	
④ 授業料口座振替依頼書	

9 授業料等

(1) 授業料 年額 520,800円(予定)

年額の2分の1相当額を前期(4月)、後期(10月)の2期に分けて納付していただきます。
なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用される予定です。

(2) 教育研究活動中に事故を被った場合に対処するため、「学生教育研究災害障害保険」への加入を義務付けています。(保険料は3年間で2,350円程度)

10 その他

- (1) 提出書類に不備のある場合は受理しません。
- (2) 受理後の書類の変更は認めません。
- (3) 納付した入学検定料、入学料及び提出書類は返還しません。
- (4) 出願にあたり、各領域の担当教員とあらかじめ連絡を取ることをおすすめします。
- (5) 本募集要項に関して、不明な点があれば下記までお問い合わせください。

札幌医科大学事務局学務課主査(大学院)

〒060-8556 北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 (内線2177)

札幌医科大学 大学院 保健医療学研究科（博士課程後期）の概要

1 目 的

札幌医科大学保健医療学研究科博士課程後期は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又は、その他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力及びその基礎となる 豊かな学識を養うとともに、国際的に活躍することができる人材の養成を目的とする。

また、カリキュラムは、理学療法学領域及び作業療法学領域の専門科目と特別研究で構成し、選択する専門分野の特講、特講演習及び特別研究を指導教員の指導の基に履修する。

2 学 生 定 員 入学定員 6 名 収容定員 18 名

3 標準修業年限 3 年 (※在学期間は、6 年を越えることができません。)

4 学 位 博 士 (理学療法学又は作業療法学)

5 教 育 課 程

(1) 教育の方針

- ① 理学療法学領域では、疾病や外傷から生ずる障害を、医学、工学、体育学等を総合した観点から解析し、理学療法的アプローチの手段と治療効果の判定を学問的に確立する方策について教育・研究をする。
- ② 作業療法学領域では、人間のライフサイクルをその中心に据え、疾病や外傷によって派生する障害を、人間の日常生活（作業）や目的行動及び社会的・心理的・職業的観点から解析し、作業療法の方策について一貫した学問体系の確立を目指した教育・研究をする。
- ③ スポーツ療法学と作業科学の研究者を外国から教授に招くなど、先進国の優れた教育及び研究の成果を精力的に導入し、最先端知識のみならず、国際性のある視野の広い研究者及び教育者を育成する。

(2) 履修基準

区 分	所要単位	備 考
講義（特講）	2 単位以上	指導教員の特講 2 単位（必修）と他の教員の特講又は他の領域の特講を履修
演習（特講演習）	4 単位以上	指導教員の特講演習 4 単位（必修）と他の教員の特講演習又は他の領域の特講演習を履修
特 別 研 究	4 単位	理学療法学特別研究又は作業療法学特別研究の 4 単位（必修）
合 計	10 単位以上を履修	

(3) 修了要件

原則として大学院に 3 年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、副論文(1編以上)を提出し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、本学大学院研究科において優れた研究業績を上げたと認める者については、1年（2年未満の在学期間をもって修士課程又は博士課程前期を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて3年）以上在学すれば足りるものとする。

6 教育研究分野（博士論文の作成につながるもの）

専 門 領 域	教 育 研 究 分 野
理学療法学領域	徒手療法学 身体機能代償学 神経障害理学療法学
作業療法学領域	作業科学 活動能力障害学 感覚統合障害学 神経精神機能障害学 精神障害作業療法学

※ 理学療法士・作業療法士の資格の有無にかかわらず、どの教育研究分野でも選択できます。

授 業 科 目 の 概 要

専門領域	授 業 科 目	単位数	担当教員	授 業 科 目 の 概 要
理学療法学領域	徒手療法学特講	2	宮本 重範 青木 光広	<p>関節の運動機能障害は筋・腱、関節包・皮膚等の関節周囲組織の短縮あるいは弛緩、関節の変性及び神経組織の生理学的・力学的変化により生じます。従って、これらに対する理学療法では、障害の系統的な評価を通して障害の病態を的確に把握・判別できる能力を要します。</p> <p>本特講では、徒手療法（Manual Therapy）の治療理念に基づき、形態的、運動学的、神経生理学観点により障害の問題点を系統的に推論し、運動機能における徒手療法の治療効果を科学的に検証できる方策について学習します。</p>
	徒手療法学特講演習	4	宮本 重範 青木 光広	<p>筋・骨関節障害の徒手療法（Manual Therapy）に関する国内・外の論文抄読と臨床的推論の演習を通して運動器障害の臨床における論理的思考・研究能力を修得させます。</p>
	身体機能代償学特講	2	乾 公美 松嶋 範男	<p>身体に不可逆的機能障害を生じた時、何らかの機能代償手段を講じなければ日常生活やQOLに支障を来します。機能代償の手段は、残存機能による代償、身体外部に義肢装具を装着することによる代償、生活環境を整備することによる代償が考えられます。</p> <p>本特講では、上述のそれぞれの代償方法について、残存機能を最大限生かし失われた身体機能を回復し、人の尊厳に基づいた生活が復活できるための身体機能代償方法を理学療法的に検討します。</p>
	身体機能代償学特講演習	4	乾 公美 橋本 伸也 石川 朗	<p>残存機能による代償、身体外部に補装具を装着することによる代償、生活環境を整備することによる代償の方法と、その効果について科学的に検証することを演習します。</p> <p>残存機能による代償については、骨格筋の萎縮の予防と改善、筋タイプの変化などを生理学的に研究し有効な理学療法的手段を検討します。</p> <p>補装具による代償については、身体機能のみならず生活環境をも含めた総合的評価に基づく処方と使用評価を検討し、合目的補装具の作成について演習します。</p> <p>環境整備による代償は、対象者の住環境を調査し合理的な住環境整備について研究します。</p>
	神経障害理学療法学特講	2	吉尾 雅春 小塚 直樹	<p>中枢神経障害による病態について、脳・脊髄の生理学及び機能解剖学的知見、四肢体幹の機能解剖学的根拠を基に自ら説明し、それに基づく理学療法学を提示できるようにする。また、廃用症候群や低体力、その他の重複的問題、またQOL等の社会科学的領域にも目を向け、適切な理学療法のあり方や研究方法を追求する。</p>

専門領域	授業科目	単位数	担当教員	授業科目の概要
理学療法学領域	神経障害理学療法学特講演習	4	吉尾 雅春 小塚 直樹	中枢神経障害による姿勢や運動障害、認知障害痛み等の病態・現象を症例を通して分析評価・説明し、適切な理学療法を実践できるようにする。また、根拠に基づき早期に予後を予測し、且つ理学療法効果の検証を進める。臨床的課題を適宜解決するための研究方法を追求し、実践する。
	スポーツ療法学特講	2	片寄 正樹	スポーツ療法における最新の知見を明らかにするとともに、スポーツ外傷・障害に対する系統的な評価・治療法並びに高度な技術を有するスポーツ選手の科学的なリハビリテーションプログラムの立案・実施方法について論述します
	スポーツ療法学特講演習	4	片寄 正樹	スポーツ療法に関する多数の研究論文の系統的抄読と機能的成果の判定 (Functional outcome measurement) を通して、スポーツ外傷・障害に対する理学療法学を科学的に検証させます。
	運動科学特講	2	田中 敏明	ヒトの動きを病態運動学、人間工学の視点から学び、人体の特性に適合した福祉機器開発に必要なリハビリテーション工学・支援工学的研究手法について講義する。また、リハビリテーション工学・支援工学的的研究方法についても理解を深める。
	運動科学特講演習	4	田中 敏明 高柳 清美	特講の講義内容を基盤とし、演習を通してヒトの動きを病態運動学、人間工学的計測分析手法を学ぶ。また、福祉機器開発等に関する課題解決のための研究手法についての理解を深める。
	機能解剖学特講	2	乗安 整而	人間の身体各部が生命の歴史のなかでの生成発展の過程を解剖生理学的にとらえ、機能のための構造の変遷を論理的に解明する方法を講義する。 また、これらに関する学問の基本的なあり方についても学習する。
	機能解剖学特講演習	4	乗安 整而 吉尾 雅春	人体解剖を通して現在に至るヒトの構造と機能の関わりを理解し、新たな論理的解釈を構築する。
	身体科学特講	2	武田 秀勝	身体機能の維持や減衰した機能の改善を図る時局所的な側面と同時に全身機能の面から把握しなければなりません。本特講では、人間の身体機能を神経系－内分泌系－免疫系の3大支柱を総合的に考える必要があります。また、身体科学のメカニズムを生化学的、分子生物学的手法によって解析し、反応機序を研究します。

専門領域	授 業 科 目	単位数	担当教員	授 業 科 目 の 概 要
理学療法学領域	身体科学特講演習	4	武田 秀勝	<p>身体の老化速度の促進・遅延要因としては障害蓄積によるものも多い。本講では健康寿命の要因の一つとして考えられる活性酸素の動態を観察し、健康の阻害因子を好中球の活性酸素産生能について測定分析する。また、免疫機能の指標として8OH-dGの測定も試みる。</p>
	理学療法学特別研究	4	専門分野に応じた教員	<p>大学院学生（院生）を高度な専門的知識を有する研究者、教育者及び管理者に育成するために課題探索能力をより一層高めるための指導を行います。</p> <p>個々の院生の教育歴的背景や彼等の研究手法を考慮した教育者、管理者に不可欠な知識の習得や研究活動に必要な情報や知識の習得について、それぞれの院生が自主的に選択した課題に対し個別に指導します。</p>
作業療法学領域	作業科学特講	2	選考中	<p>作業療法における「作業」の科学的追求は、作業療法の学問的基盤の構築に欠かせません。博士前期課程の作業学は「作業」と人間との関係性について生活における作業の意味、形態、機能の三者関係から検討しましたが、本特講では、さらに作業的存在としての人間のサブシステムの探索、並びに質的研究法の視点から人生（生活）の語り（ストーリー）とその語りを用いた治療的意義について学習します。</p> <p>また、作業療法への応用として、日常生活と作業遂行パターン・バランスについても検討します。</p>
	作業科学特講演習	4	選考中	<p>自ら選択した具体的症例を通して、上記特講の学習目標を追求します。さらに症例及び文献検索を通して作業の比較文化的視点からの考察を行い、諸外国（特に米国）における作業科学研究の日本への応用性について検討します。</p>
	活動能力障害学特講	2	澤田 雄二 中村真理子	<p>リハビリテーション、特に作業療法において、対象者から望ましい運動機能を引き出し、生活に適應する能力を高めるには、疾病や外傷から派生した運動機能障害の特性を明らかにすることが必要となります。</p> <p>このためには、健常者との違いを明確にするとともに、作業療法が身体運動機能に及ぼす効果についても検討を加える必要があります。これらを基に、治療手段の確立を図る方策について学習します。</p>
	活動能力障害学特講演習	4	澤田 雄二 中村真理子	<p>特講の講義内容を基盤とし、具体的な研究方法の策定について学習するとともに、動作解析的手法、動作筋電図学的手法を用いて上肢の精緻な運動の解明を学習します。</p>

専門領域	授 業 科 目	単位数	担当教員	授 業 科 目 の 概 要
作業療法学 領 域	感覚統合障害学特講	2	選考中	<p>人間のライフサイクルに応じた作業遂行（日常生活活動、学習、余暇・遊び、仕事）能力を高めることは作業療法の重要な目標であり、そのための治療プログラム決定には、科学的根拠が要求されます。</p> <p>感覚統合理論は、人間の脳内情報処理過程と作業遂行・適応行動との関係から様々な治療仮説を提示するものであり、その関係性の理解を高めることが重要となります。</p> <p>本特講では、過去の脳機能の知見と作業遂行研究との関係を発展させるために、新しい角度から治療仮説を設定し、より具体的な感覚統合障害に対する作業遂行（作業療法プログラム）のあり方を検討します。</p>
	感覚統合障害学特講演習	4	選考中	<p>特講での学習を基盤として、自ら研究文献を探索し、感覚統合障害の治療仮説と作業療法との関係を提起します。</p> <p>また、感覚統合障害を持つと思われる対象者に対する実際的な観察及び検査から、脳内情報処理過程の障害タイプを抽出し、適切な作業療法プログラムを検討します。</p>
	神経精神機能障害学特講	2	村上 新治	<p>ヒトのヒトたる高次脳機能活動である神経精神機能を客観的に測定することは困難でありましたが、近年、工学的技術の進歩により可能となってきました。その最新の方法及びそれにより明らかにされた知見、加えて神経精神機能障害のメカニズムと評価について解説を行い、論文抄読を行って討議を加えます。</p> <p>さらに、神経精神機能が成熟、獲得された後、障害が進む高齢者について機能的、疫学的、社会学的に行った研究と調査から神経精神機能障害を解説し考察を行います。</p>
	神経精神機能障害学特講演習	4	村上 新治	<p>獲得された高次脳機能の低下や障害を示す高齢者を対象に神経精神機能の客観的測定方法として眼球運動、誘発脳波を測定し、高次脳機能障害、痴呆疾患や精神疾患の診断、病態把握や評価解析を行います。</p> <p>さらに、機能的な研究と疫学的、社会学的調査から神経精神機能障害として神経及び精神疾患を解説し、高齢者社会の現状と将来における作業療法の治療と応用について討議を行います。</p>

専門領域	授 業 科 目	単位数	担当教員	授 業 科 目 の 概 要
作業療法学 領 域	発達障害科学特講	2	舘 延忠	発達障害児のリハビリテーションに関して、至適な理学療法・作業療法評価、効果判定、治療手法を科学的に解明する目的で、電気生理学、生化学的、分子生物学的、組織学的、運動学的手法を用いた実験に関する学習をする。
	発達障害科学特講 演習	4	舘 延忠	発達障害科学特講義で学習した事項に基づき、幾つかの疾患に焦点をあて、実際の至適な理学療法・作業療法評価、効果判定、治療手法に関するプロトコールを作成するための演習を実施する。
	精神障害学作業療法 学特講	2	青山 宏	現代社会には、社会病理、家族病理など様々な危機的状況が存在する。そのような状況下で、人の精神的な健康に関する問題の増大やそれに対する予防、治療、リハビリテーションを考えていくことは、重要な課題である。本科目では、臨床における作業療法を構成する個人、作業、集団などの要素と家族、社会などの環境的側面のダイナミックな関連を心理社会的側面から検討し、精神障害者に対する援助方法の確立を図る方策について学習する。
	精神障害学作業療法 学特講演習	4	青山 宏	特講の講義内容を基盤に、関連文献の検討及び臨床症例の詳細な検討、調査などを通して、臨床における作業療法の治療構造の解明と、個人的背景、環境的要因をふまえた治療・援助に必要な知識や技術、研究法について多元的視点から学習する。
	作業療法学特別研究	4	専 門 分 野 に 応 じ た 教 員	大学院学生（院生）を高度な専門的知識を有する研究者、教育者及び管理者に育成するために課題探索能力をより一層高めるための指導を行います。 個々の院生の教育歴的背景や彼等の研究手法を考慮した教育者、管理者に不可欠な知識の習得や研究活動に必要な情報や知識の習得について、それぞれの院生が自主的に選択した課題に対し個別に指導します。

平成16年度札幌医科大学大学院保健医療学研究科
理学療法学・作業療法学専攻（博士課程後期）
入 学 願 書

※受付番号		※受験番号		受験区分	一 般 社会人特別
ローマ字				生年月日	昭和・西暦 年 月 日
氏 名 (性 別)	Ⓜ (男・女)			国 籍	年 齢 歳
志望教育研究分野（注 理学療法士・作業療法士の資格の有無に関わらず、どの教育研究分野でも選択できます。）					
学					
出 願 資 格	(1) 昭和 年 月 大学 学部 学科 卒業 平成 年 月 西暦				
	(2) 昭和 年 月 大学院 研究科 課程 専攻 修了 平成 年 月 西暦				
	(3) 学士の学位（取得） 昭和・平成・西暦 年 月 （ 学） 修士の学位（取得・取得見込） 昭和・平成・西暦 年 月 （ 学）				
	(4) その他				
関 連 医 療 資 格 等	○資格名 第 号 ○取得年月日 ○登録番号 第 号 昭和・平成・西暦 年 月 日				
	○資格名 第 号 ○取得年月日 ○登録番号 第 号 昭和・平成・西暦 年 月 日				
	○資格名 第 号 ○取得年月日 ○登録番号 第 号 昭和・平成・西暦 年 月 日				
	○資格名 第 号 ○取得年月日 ○登録番号 第 号 昭和・平成・西暦 年 月 日				
現 住 所 (連絡先)	〒 — (電話 — —)				
本学入学後に研究しようとする課題等の概要					

履 歴 書		
学 歴	年 月 日	高等学校卒業
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
職 歴	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
賞 罰	年 月 日	
	年 月 日	
<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">氏 名 ㊟</p>		

【記入上の注意】

◎入学願書

- ① 記入事項は、楷書で記入するとともに、該当事項に○をつけてください。
- ② ※印の欄は記入しないでください。
- ③ 志望教育研究分野の欄は、志望専攻に応じて、志望する事項を適宜記入してください。
- ④ 関連医療資格等の欄は、医師、保健婦、看護婦、理学療法士、作業療法士のほか医療、福祉関係などの資格取得状況を適宜記入してください。
- ⑤ 「本学入学後に研究しようとする課題等の概要」欄は、教育研究分野の志望理由や大学院における抱負などを記入してください。

◎履 歴 書

- ① 学歴は、高等学校卒業から記入してください。
- ② 履歴は、空白の期間が生じないように記入してください。

主 要 論 文 要 旨

氏 名		論文著者氏名 (著者全員)	
発表雑誌名 (巻・号・頁)		発表年月日	年 月 日
論文題目			
要 旨			

※ この用紙に必要事項を記入の上、主要論文に添付して提出すること。

※ 要旨は、1,500字程度で記入すること。

※ 2枚目からも外枠だけは必ず付けること。

論 文 目 録

番 号	論 文 名 等	概 要
	論文名 発表年月日 発表雑誌名 (巻・号・頁) 著者名	

- ※ この用紙に必要事項を記入の上、主要論文に添付して提出すること。
- ※ 概要は、200字程度で記入すること。
- ※ 論文数が多い場合は、この用紙を適宜複写の上、番号欄に番号を記入して提出すること。

社 会 活 動 等

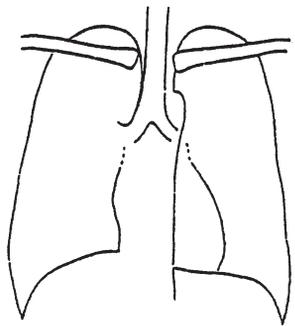
各種委員会・ 団体等の活動	1	
	2	
	3	
	4	
学会等の活動	1	
	2	
	3	
	4	
	5	

※ 各種団体や委員会等（官公庁や民間団体など）で委員等として参画している場合は、団体名、役職名、活動内容及び期間を記入すること。

※ 加入している学会等の名称、役職、活動内容及び期間を記入すること。

※ 記入欄が足りない場合は、この用紙を適宜複写の上、提出すること。

平成 16 年 度
 札幌医科大学大学院保健医療学研究所
 (博士課程後期)
 入学志願者健康診断書

受付番号	※	受験番号	※
フリガナ 氏名 生年月日	----- 昭和 年 月 日生 男・女	現 住 所	
診 断 事 項			
視力	左 ・ (・) 右 ・ (・)	就 学 上 配 慮 す べ き 事 項	
胸部 エ ク ス 線 検 査	直接 間接  平成 年 月 日撮影 フィルム番号		
	所見		
主 な 患 既 時 往 の 症 年 と 齢		主 な 現 疾 患	(入学後の健康管理上注意すべき疾病の有無とその内容)
診断の結果、上記のとおり相違ないことを証明します。 平成 年 月 日 所在地 医療機関名 医師の氏名 ㊟			

記入上の注意

- 1 ※印欄以外はもれなく記入してください。
- 2 視力の () は矯正視力を記入してください。
- 3 主な既往症の欄は、疾患名と罹患時の年齢を記入してください。
- 4 出願前3か月以内に発行された診断書に限ります。
- 5 この診断書は、診断医が厳封(開封無効)し、受診者に交付してください。

受験票	
受験番号	※
氏名	
志望専攻	専攻
志望専門領域	領域
志望教育分野	学
【試験日程】 平成16年1月31日(土) 9:30~11:30 筆記試験 13:00~ 口頭試験	【写真貼付】 縦4cm×横3cm 出願前3ヶ月以内 に撮影した正面、上半身、 脱帽の写真を貼付して ください。
【試験場】 札幌医科大学保健医療学部 札幌市中央区南3条西17丁目 電話 011-611-2111 内線2192	

- ・※印欄は記載しないでください。
- ・志望教育分野等の欄の記載は、入学願書と同様に記載してください。
- ・試験当日は、この受験票を必ず持参ください。

写真票	
受験番号	※
氏名	【写真貼付】 縦4cm×横3cm 出願前3ヶ月以内 に撮影した正面、上半 身、脱帽の写真を貼付 してください。
(昭和 年 月 日生 歳)	(男・女)
志望専攻	専攻
志望専門領域	領域
志望教育分野	学
※【摘要】	

- ・※印欄は記載しないでください。
- ・志望教育分野等の欄の記載は、入学願書と同様に記載してください。

受 験 上 の 注 意

- 1 試験当日午前 9 時 10 分までに受付を済ませてください。
なお、試験室の開場は、9 時 00 分です。
- 2 各教科の試験開始 5 分前までに、試験室に入室してください。
- 3 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めません。ただし、試験時間の延長は、できません。
- 4 試験室では、机上の受験番号と受験票の受験番号が同一であることを確認のうえ着席してください。
- 5 机上には、受験票・鉛筆・消しゴム・時計・英語辞書（和英、英和、英英）以外の所持品は置けません。
- 6 試験室に入室してから試験終了までの間、退出は認めません。試験中の発病、用便等やむを得ない場合は、監督員の指示に従ってください。
- 7 試験室に携帯電話を持ち込む際は、必ず電源を切ってください。

平成16年度
札幌医科大学大学院保健医療学研究科
(博士課程後期)
入学検定料納付書

志望専攻名		専攻	受験番号	※
-------	--	----	------	---

受験者 (楷書で記入してください)

住所
ふりがな
氏名

注意

- 1 30,000円の北海道収入証紙を購入し、下欄に貼り、印鑑で割印してください。
- 2 北海道収入証紙の購入が困難な場合は、30,000円を郵便普通為替 (受取人欄は記入しないでください) とし、この納付書とともに同封してください。
- 3 収入印紙と間違いのないように購入してください。
- 4 北海道収入証紙は、北洋銀行本支店または北海道収入証紙売りさばき所で販売しています。
- 5 北海道収入証紙の種類は、合計が30,000円になれば種類は問いません。
また、貼り付け欄が足りない場合は、裏面に貼り付けてください。(割印必要)
- 6 ※印欄は記入しないでください。

北海道収入証紙貼り付け欄

<div style="display: flex; flex-direction: column; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 90%; height: 80%;"></div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 90%;"> 印 印 </div> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 90%; height: 80%;"></div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 90%;"> 印 印 </div> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 90%; height: 80%;"></div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 90%;"> 印 印 </div> </div>
---	---	---

(郵便普通為替証書は、貼り付けないで本書に添付してください)

在職期間証明書

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

下記の者について、次のとおり在職している（いた）ことを証明します。

記

氏名等	(昭和 年 月 日生)
在職期間	
職務内容	

平成 年 月 日

所在地

事業所等名

代表者

印

注1 本様式（A4版）にならひ作成されたものでも可。

2 複数の勤務した場合は、それぞれの勤務先について提出してください。

就 学 承 認 書

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

氏 名

生年月日 昭和 年 月 日生

上記の者が、貴大学大学院保健医療学研究科に入学した場合は、大学院設置基準第 14 条特例の適用により、在職したまま在学することを認めます。

平成 年 月 日

所 在 地

事業所等名

代 表 者

印

※本様式（A4版）にならい作成されたものでも可。